

中央図書館を核とした複合施設棟のコンセプト（案）について

1 概 要

令和3年4月に公表された倉敷市庁舎等再編基本構想に基づき、中央図書館を核として市民活動センターや中央憩の家等の施設や機能を複合化し、生涯学習や市民活動等の拠点として新たに整備予定の複合施設棟の目指す姿としてコンセプト（案）を策定しました。

2 複合施設棟のコンセプト

倉敷市第七次総合計画、倉敷市教育振興基本計画、さらには昨年度実施した市民アンケートの結果等を踏まえ、『施設全体が図書館となるオープンな施設』をコンセプトに、単なる施設の複合ではなく、各施設との「融合」を図りながら、相乗効果による利用者の増加を目指します。

- (1) 気軽に施設内で図書館の本を閲覧可能とし、図書館の本に触れる機会の増大を目指します。
- (2) 各施設の「見える化」を図り、他の施設の利用促進による相乗効果を図ります。
- (3) 会議室の共用化を図り、効率的な施設運営を目指します。

3 今後のスケジュール

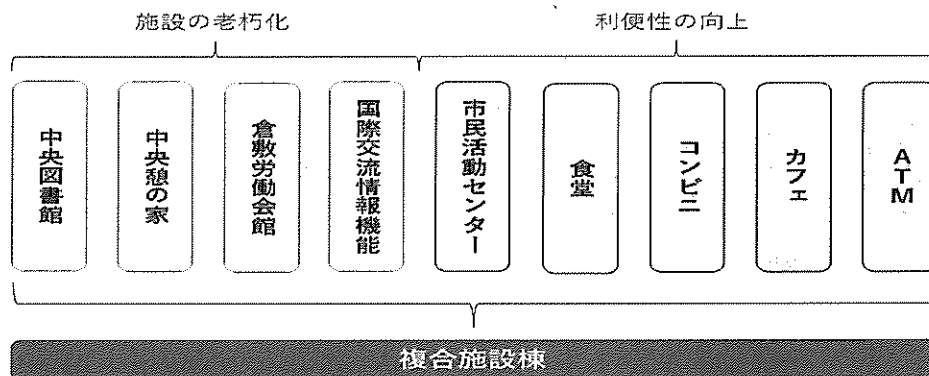
策定したコンセプト（案）をもとに、今後、ワークショップ等をはじめ、市民の皆様の意見を伺いながら、基本計画の策定を進めていきます。

令和5年3月	基本計画（素案）策定
令和5年度	基本計画（確定）、実施方針検討・事業者選定手続き
令和6年度	設計開始
令和7年度	施工開始
令和9年度以降	供用開始

中央図書館を核とした複合施設棟のコンセプト（案）

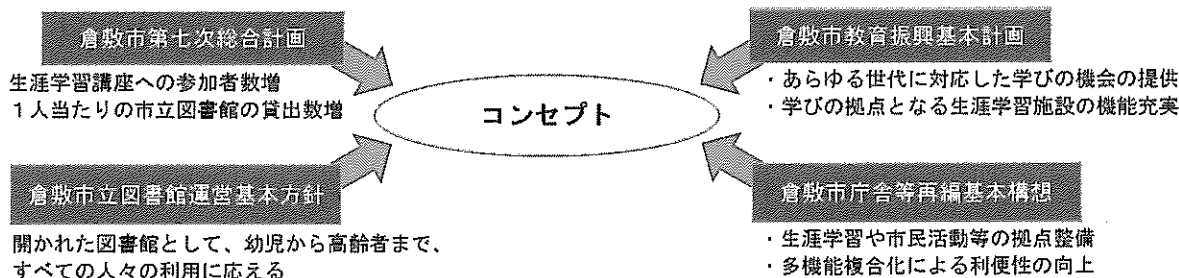
1 複合施設棟の概要について

本市では、令和3年4月に公表された倉敷市庁舎等再編基本構想（以下「基本構想」という。）に基づき、中央図書館を核として、市民活動センターや中央憩の家等の施設や機能を複合化して、生涯学習や市民活動等の拠点となる複合施設棟として新たに整備する予定としています。



2 倉敷市第七次総合計画、倉敷市教育振興基本計画等との関連性

複合施設棟は、倉敷市第七次総合計画、倉敷市教育振興基本計画等から、次のような施設であることが求められています。



3 市民アンケートの概要

複合施設における中央図書館の在り方を検討する際の参考資料とすることを目的として、令和4年2月28日から3月28日にかけて、15歳以上の倉敷市民を対象に「複合施設における図書館の在り方についてのアンケート」を実施しました。

その結果、約7割の市民の方が過去1年間に市立図書館を利用していないことや、利用している市民の方においても、5割以上は年に数回程度しか利用していないこと等が明らかになりました。

このことから、市立図書館を利用していない方が、利用したくなる（行ってみたくなる）図書館にすることが重要な課題であると考えています。

複合施設における図書館の在り方についてのアンケート

調査期間：R4.2.28～3.28

調査対象：市内に住所のある
15歳以上の住民から
無作為抽出された2,000人
(有効回答：811人)

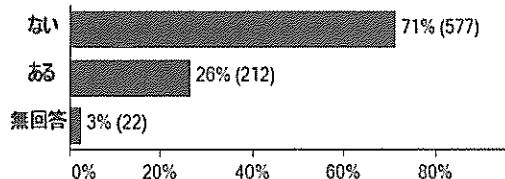
※アンケート結果は
教育企画総務課HP
に掲載しています。

HPは

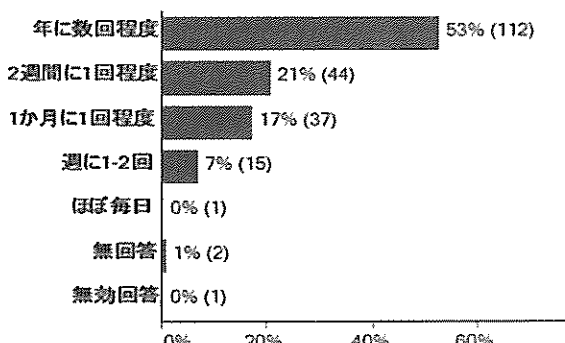
こちら



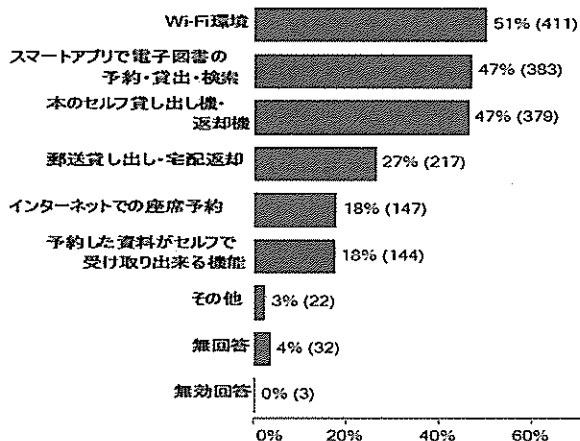
○過去1年間に倉敷市立図書館を利用したことがありますか。



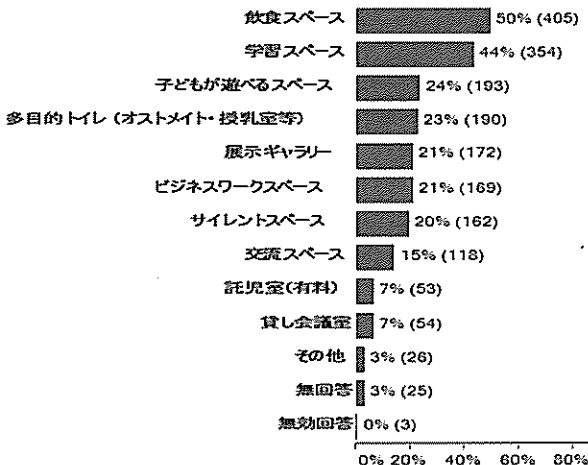
○倉敷市立図書館をどれくらいの頻度で利用しますか。
※左記設問で「ある」と回答した212名の回答



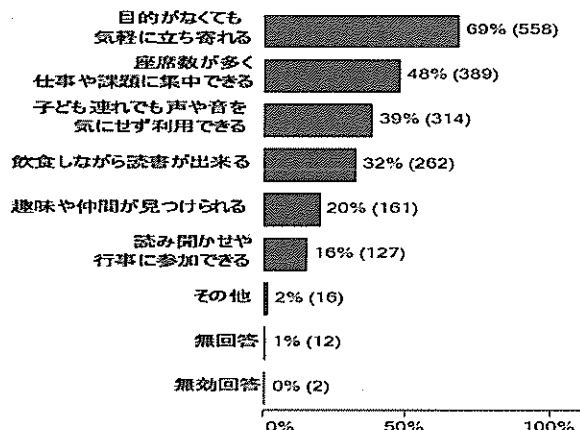
○新しい図書館には、どんな機能・サービスがあったらよいと思いますか。（3つまで回答可）



○新しい図書館には、どんなスペースがあったらよいと思いますか。（3つまで回答可）



○新しい図書館は、どのような場所になればよいと思いますか。（3つまで回答可）



○ 図書館にあったらよいと思う機能・サービスやスペースについては、約5割の方が、Wi-Fi環境、本のセルフ自動貸出・返却機の導入や飲食・学習スペースを望んでいます。

○ 新しい図書館は、どのような場所になれば良いと思うかについては、約7割の方が、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」と回答しています。

このことから、新しい図書館はICTを活用した新しい図書館サービスを提供することや、目的がなくても気軽に立ち寄れる心地よい空間にすることが必要であると考えています。

※「複合施設における図書館の在り方についてのアンケート」結果より抜粋。

4 中央図書館を核とした複合施設棟のコンセプト

(1) 中央図書館

倉敷市第七次総合計画などの市の上位計画、市民アンケートの結果、また実際に現場で働く図書館司書が、業務を行っていく中で考えた意見を踏まえ、中央図書館には次のような機能が求められていると考えています。

心地よい空間づくり

ひとりでもみんなでも居心地のいい空間、飲食スペース、学習スペース、市民ギャラリーの設置など

ICTを活用したサービスの提供

自動貸出機・返却機の設置、インターネットでの座席予約、セルフ予約棚の導入など

多世代が集う場所の整備

豊富な子育て情報の提供、キッズコーナー、ティーンズコーナーの設置など

倉敷再発見の取り組み

地域資料のデジタル化の推進、体験型展示の開催など

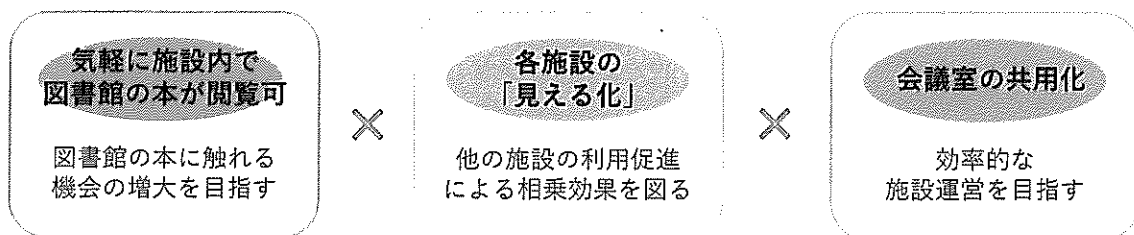
(2) 複合化となる他の施設

倉敷市第七次総合計画では生涯学習講座への参加者数増を、倉敷市庁舎等再編基本構想では多機能複合化による利便性の向上をそれぞれ目指していることから、複合化となる他の施設については、多世代が交流し、利用者の増加につながる機能が求められていると考えています。

(3) 複合施設棟全体のコンセプト

(1)・(2)を踏まえ、複合施設棟全体のコンセプトは、気軽に施設内で図書館の本を閲覧できる環境とすることで、利用者が図書館の本に触れる機会の増大を目指します。

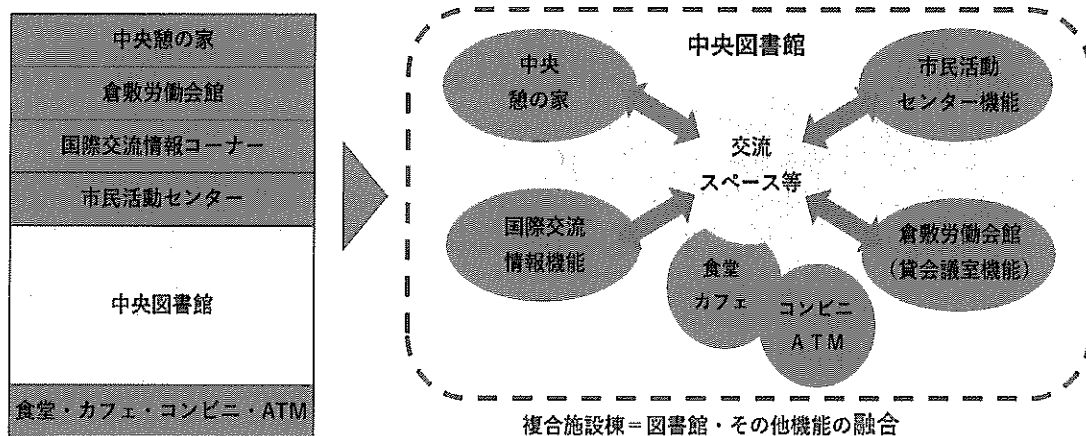
また、各施設の「見える化」により他の施設利用を促進することで相乗効果を図るとともに、会議室の共用化により効率的な施設運営を目指します。



施設全体が図書館となるオープンな施設

上記コンセプトの実現に向けて、単なる施設の複合ではなく、各施設との「融合」を図りながら、相乗効果による利用者の増加を目指します。

各施設の融合のイメージ



5 今後のスケジュール

現時点における複合施設棟の整備スケジュールは次のとおりです。なお、今後、策定したコンセプトをもとに、ワークショップ等をはじめとして様々な市民の皆様の意見を伺いながら、基本計画の策定を進めていく予定です。

